

QSK

編集 「認定」特定非営利活動法人 大分DARC

〒870-0021 大分県大分市府内町 3-7-19 藤本ビル 3階 TEL&FAX 097-574-5106

OPEN

ひらけごま!

SESAME!

No. 51

タイトル:新しい自分

今年もやってきた

新年のスキー教室だ。

アディクトにとって『すべる』事はよくあることだ。

しかし、

こっちの滑るはそうそうない。



春まだ浅き今日この頃皆様いかがお過ごしでしょうか
ダルクの仲間たちは、年明け早々に風邪やインフルエンザに見舞われたものの現在は皆
完治しそれぞれの回復の為に生活を取り戻しております。

しかし、10年に1度の寒波で寮の水が出ない、水道管が破裂などの真冬のダルク生活を味わいながら、仲間
たちは、今日も吹雪の中、自転車にまたがりダルクに通ってきております。その様な姿を見るたびに回復を願うば
かりであります。

私ども職員は3月5日の大分 DARC26周年フォーラムの開催に向け準備をしております。新型コロナ感染防
止の為にここ数年フォーラムは控えており振り返れば6年ぶりの開催となります。今は、与えられた役目を淡々と
こなしております。お気軽にお越しください。皆様今年も宜しくお願い致します。

認定 NPO 法人取得のお礼

いつも大分 DARC をご支援・ご指導いただきまして、誠にありがとうございます。

この度、令和4年12月28日に「認定 NPO 法人」を取得することができました。

寄附者が税制上の控除を受けられる「認定 NPO 法人」を目指す事を3年程前から取り組んでまいりました。書
類の作成、雇用体制の見直し、支援者様へのお願い、様々な不慣れな事ばかりでしたが、支援者様のご指導ご協
力を賜り取得する事が出来ました。今後は今まで以上に踵を正し回復支援の安定化を目指したいと思っております。
誠に皆様ありがとうございました。引き続きよろしく願いいたします。

今回の認定 NPO 法人化によってご寄付を下さる方々に税制上の控除を活用していただきたいと思っております。
3ページに計算式を記載しております。ご不明な点は等御座いましたら直接ご連絡いただけると対応いたします。

認定 NPO 法人認定式



「認定」特定非営利活動法人大分 DARC
施設長 藤川 聡

「認定」認定特定非営利活動法人の認定のお知らせ

令和 5 年 1 月 17 日

「認定」特定非営利活動法人大分 DARC

代表理事 河村郁男

当法人は去る令和 4 年 12 月 28 日に大分県知事広瀬勝貞様より認定特定非営利活動法人(以下「認定 NPO 法人」という)の認定を受けました。この認定 NPO 法人制度は NPO 法人への寄付を促すことにより、NPO 法人の活動を支援するために設けられた制度であり、この認定 NPO 法人とは NPO 法人のうちその運営組織及び事業活動が適正であって公益の増進に資するものにつき一定の基準に適合したものとして所轄庁の認定を受けた NPO 法人を言います。

認定の有効期間は令和 4 年 12 月 28 日から令和 9 年 12 月 27 日までの 5 年間です。この期間中に皆様からいただいた寄付金につきましては次に掲げるような税制上の特典が受けられることになっています。

[1] 個人が寄附をした場合

認定 NPO 法人が行う特定非営利活動に係る事業に関連した寄附をした場合は特定寄付金に該当し次の金額を寄付金控除することができます。

寄附金控除額=(「特定寄付金の支出額」と「総所得金額の合計額の 40%」のいずれか少ない方の金額)-2,000 円

[2] 法人が寄附をした場合(普通法人の場合)

損金算入限度額=(「所得の金額×0.0625」+「資本金額×月数/12×0.00375」)×0.5

なお当法人が受領した寄付金の領収証については次の時期に郵送することを予定しておりますので確定申告に際して確定申告書に添付いただくようお願いいたします。

[1] 個人の寄付

寄附した年分の翌年 1 月

[2] 法人の寄付

寄附した事業年度の期末後 1 ヶ月以内

※ご不明な点、詳細説明等、必要な場合は直接ご連絡いただけると対応いたします。

「認定」特定非営利活動法人大分 DARC 097-574-5106 まで

HOT DARC PRESS

ホットダルクプレス



「今までの、生き方これからの生き方」

薬物、アルコール依存症のキント申します。

まず一番初めにつながったのが佐賀の精神病院に入院していた時にそこで初めてダルクの存在を知りました。ダルクのスタッフさんからミーティングに参加しませんか？と誘われてついていったのが始まりでした。

まず読み合わせをして話をされていたのですが、ルールでいいっぱなし、聞きっぱなしと言われ意味が分かりませんでした。それが最初の印象でした。

それからか3か月の入院を経て、佐賀ダルクに繋がりました。

入所の祝いをしてくれると仲間が言ってくれてダルクに入った日の夜にお酒を飲みました。ダルクの生活は楽しく和気あいあいとしていました。

ですが、他の仲間は酒を飲んだことを正直に「飲みました」とミーティングで話しているのに自分はずっと飲んでいないと正直になれませんでした。ダルクの施設長やスタッフの方から認めて話した方がよいと言われましたが自分には無理でした。

それから時間だけが過ぎて、とうとう偽りの3カ月が経っていました。

新しい仲間も入ってきたのですが正直になれずにいました。

そして色々なことに嫌気がさして飛び出しました。

そして帰るところが実家しかなかったので実家に帰ったのですが、次の日にダルクにもどされました。そして、またその日に飛び出して実家に戻りました。

父親、母親から歓迎はしてもらえずに次の施設を提案されて山梨に行くことになりました。ですがあまり馴染めずにまた半年くらいで飛び出しました。

それからまた実家に帰り、仕事を始めていたのですが長くは続かず同じことの繰り返しでした。夜の仕事を始めてからは毎日のように酒、酒の生活でした。

その間は大麻を当たり前のよう吸っていました。

罪悪感もなく、ただ楽しいから使用する。捕まることはないと思っていました。

それから3年くらいが経ちダルクとは無縁の日々を過ごしていました。

自分が嫌になりトラブルも多くなってきて自分の力ではどうにもならなくなっていました。そんな日々の中でダルクのことを思い出すようになりました。

酒、大麻、ついにギャンブルまでもが毎日のようになっていました。

もう限界まできたのでダルクに電話をして助けを求めました。

すぐには入れないとわかっていたので、その間に入寮の準備などをして

実家でだまって待っていました。それから入寮することになり今にいたします。

今、大分ダルクに繋がって4ヶ月が経ちました。今までだと偽ってお酒を飲み、ギャンブルもしての繰り返しでしたが今回はまだギャンブル(パチンコ)を一回してしまいワンデイをただけでお酒は飲んではいません。

正直減茶苦茶きついです。こんなに時が経つのが遅いのかと毎日思っています。

ですが、ここまで我慢できているのは施設長、スタッフ、仲間のおかげだと思っています。自分の力だけでは到底なしえなかったことだと毎日思っています。

今まで自分の為に親身になって助けていただいた佐賀の施設長、スタッフ、佐賀の時の仲間。大分の施設長、スタッフ、仲間には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

大分では先行く仲間にも話を聞いてもらったり、助けてもらうことも多く感謝しています。「ありがとうございます。」これからの目標は親、妹、親戚の方々に胸を張って生きていきたいです。迷惑ばかりかけて申し訳ないと思っています。まずは1年のクリーンを迎えて就職につき、堂々と生きていきたいです。最後になりますが、これからも家族やダルクの仲間を信じて強く生きていきます！

「ありがとうございました！！」

毎年恒例の餅つき



年末は仲良く年越しそば



ケンゾーの筋肉コラム

よく聞かれる事がある。なんでそんなにトレーニングしてるの？

そんな時はいつもこう答える。

俺がなぜ敢えて辛いトレーニングをするのか？

もちろん体が変わる楽しさもあるが、日常生活の中で自分のことを戒めたい辛いことに敢えて挑戦する時間があればあるほど楽しい時間がより楽しくなると思う。

例えば、..

トレーニング後のご飯が美味しかったり、

トレーニング後のテートがより待ち遠しく

なって楽しかったり。(これはない！笑)

トレーニングを通じて課題を課すことで

それをクリアする達成感もはもちろん

その後にある楽しみがより楽しくなったりする。

人生や生活にメリハリをつける事は

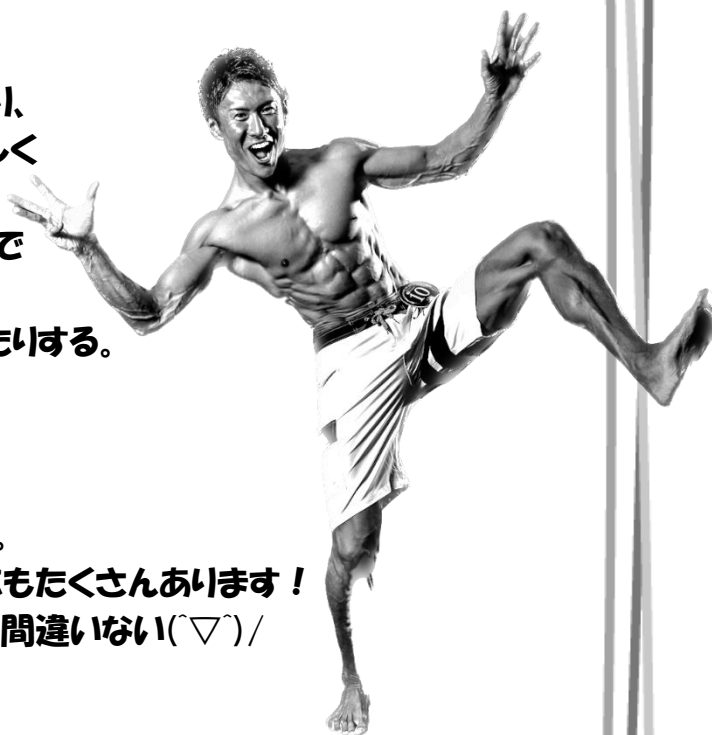
メンタルや健康にととても良いと思うし

人生が楽しく、豊かになる。

だから、..トレーニングを続けている。

これが俺の理由の一つです。まだ他にもたくさんあります！

なにより、筋肉は回復に役立ちます！間違いない(▽)/



筋肉優先！！

なぜならば...

『幸福度と筋肉量は比例する』から(▽)/

活動報告

12月

- 8日 リカバリーハウスの大掃除
- 13日 藤花医療技術専門学校にて講演
- 21日 ステップアッププログラム
- 22日 テイケア大掃除
- 27日 大分県こころとからだの相談支援センター 相談支援
- 28日 ステップアッププログラム
- 30日 餅つき

1月

- 1日 食事会
- 2日 スキープログラム
- 10日 WRAP
- 17日 ヨーガ療法
- 18日 ステップアッププログラム
- 24日 ヨーガ療法

- 毎月第1土曜日 家族教室「菜の花の会」
- 毎月第3第4木曜日 大分保護観察所ステップアッププログラム
- 毎月第1月曜日 河村クリニックメッセージミーティング
- 毎月第3木曜日 大分ダルクを支援する会



別府の温泉に行きました



スキープログラム



いつも大分DARCをご支援くださりありがとうございます。大分DARCは皆様の温かいお心によって運営されています。ここに R4 年 12 月 5 日から R5 年 1 月 23 日までに献金・献品をいただいた方々をご紹介します。

- ◎坂本時裕様 ◎田口大輔様 ◎大隈紘子様 ◎お告げの聖母トラピスト修道院様 ◎中木陽子様 ◎長みほ様
- ◎イエスのカリタス修道女会 亀川修道院様 ◎足利能彦様 ◎鈴木恵子様 ◎別府保護区 高橋譲様 ◎平岩純子様
- ◎日田保護区保護司会様 ◎カリタス修道女 南川修道院様 ◎藤川洋子様 ◎佐土原浩子様 ◎阿部美喜雄様
- ◎徳田靖之様 ◎けさまる法律事務所 今朝丸貴様 ◎大分保護区保護司会 企画調整保護司一同様 ◎姫野則雄様
- ◎庄内地区更生保護女性会 芝野聖美様 ◎SW ライフ様 ◎中山光歩様 ◎(有)春木園様
- ◎大分県中部保健所由布保健部様 ◎弁護士法人成宜 森正憲様
- ◎その他匿名希望の方々

献品をいただいた方々

- 菜の花の会の皆様 ●(特非)日本ヨーガ療法士協会大分支部様 ●佐伯市更生保護女性会様
- 城崎地区自治会様 ●大分トラピスト修道院様 ●更生保護施設等支援協議会 藤本晴男様
- 庄内地区更生保護女性会様
- その他匿名希望の方々(順不同)

☆全てのお名前をチェック致しましたが、万が一記載漏れ・誤字等がありましたらご容赦下さい。

☆作業簡素化のために全てに振込用紙を入れておりますが、強制的なものではありませんのでご了承下さい。また、匿名を希望される方はお手数ですがその都度、その旨を通信欄にお書き下さい。

◎引き続きご寄付のご協力をお願い致します◎

新型コロナウイルスが再び増えてきている中ではありますが、おかげ様でダルクメンバーたちは、無事、回復のプログラムを続けております。しかし事業的には各種メッセージ活動が軒並み中止になるなど、運営的にも少なからず影響が出てきました。オンラインによるメッセージなど新しい形態への移行の検討が望ましいところですが、手が回っていないのが現状です。今後ひとつずつ改善していく次第です。

コロナ禍でもアディクションの脅威は衰えず、新しいメンバーも増えてきました。ダルクにつながるメンバーのほとんどは金銭的な余裕はなく、それが自業自得だったとしてもせつかく掴みかけた回復のチャンスを、私たちは金銭的な理由で断ることは出来ません。どうか引き続き仲間たちの回復を支えて下さい。いつも皆様には勝手なお願いばかりで心苦しい限りですが、何卒ご協力をお願い申し上げます。

※うちよ口座制度変更の為、恐縮でございますが、一部手数料ご負担金も御座います。ご了承下さい。

※うちよ銀行の振込口座が変更いたしました。

新しい振込口座は下記になります。今後ともご支援のほど、よろしく願い申し上げます。

新振替口座 ゆうちょ銀行 口座名義「特定非営利活動法人 大分 DARC」記号番号 01730-3-151287

編集 特定非営利活動法人 大分DARC

定価 1部 350円(会費に含まれる)

〒870-0021 大分県大分市府内町3-7-19 藤本ビル3階 Tel&Fax 097-574-5106

発行 九州障害者定期刊行物協会

〒812-0068 福岡県福岡市東区社領1丁目12番4号

薬物依存者本人・ご家族のご相談は、随時行っています。月曜～金曜午前10時～午後5時まで

お問い合わせは大分ダルクまでお願いします。